

授業科目の区分等：専門教育科目 経営学科 発展科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	選択
担当教員			
竹上 健			
B (経営学科)	S (専門科目)	IF (情報)	302 (上級科目)

授業のねらい (概要)	コンピュータ及びインターネットの発展と普及に伴い、情報システムは様々な産業に活用されビジネスの発展に貢献してきた。近年では、第3のITブームとして、AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)、AR/VR(拡張現実/仮想現実)、ブロックチェーンなどあたらしい技術やシステムがビジネスに影響を与えてきている本講義では、これからのIT企業経営への活用や展開を目標として、情報システムの基礎概念や技術を学習し、欧米および日本における情報システムの事例の研究を行う。情報システム事例では、流通業、製造業、金融業のほか、エンタテインメント業、医療、食品業等身近な例も取り上げていく。		
授業計画	第1回	ガイダンス (講義概要、講義目標、成績評価の方法など) ITロードマップの2016～2020の概要と活用する意義 予習 (時間) : シラバス熟読 (60) 復習 (時間) : 本科目の理解 (60)	
	第2回	情報システム基礎理論ー基幹系システムと情報系システムとは 予習 (時間) : 配布資料を熟読 (120) 復習 (時間) : 講義内容をまとめる (120)	
	第3回	小売業/流通業における情報システム概要と事例研究 (1) 予習 (時間) : 配布資料を熟読 (120) 復習 (時間) : 講義内容をまとめる (120)	
	第4回	小売業/流通業における情報システム概要と事例研究 (2) 予習 (時間) : 配布資料を熟読 (120) 復習 (時間) : 講義内容をまとめる (120)	
	第5回	小売業/流通業における情報システム概要と事例研究 (3) 予習 (時間) : 配布資料を熟読 (120) 復習 (時間) : 講義内容をまとめる (120)	
	第6回	製造業における情報システム概要と事例研究 (1) 予習 (時間) : 配布資料を熟読 (120) 復習 (時間) : 講義内容をまとめる (120)	
	第7回	製造業における情報システム概要と事例研究 (2) 予習 (時間) : これまでの学習ノートや授業内課題を見直す (120) 復習 (時間) : 講義内容をまとめる (120)	
	第8回	金融業における情報システム概要と事例研究 (1) FinTech 予習 (時間) : 配布資料の事例を熟読し、ポイントをまとめる。(120) 復習 (時間) : 事例内容をまとめる (120)	
	第9回	金融業における情報システム概要と事例研究 (2) ビットコイン 予習 (時間) : 配布資料の事例を熟読し、ポイントをまとめる。(120) 復習 (時間) : 事例内容をまとめる (120)	
	第10回	ブロックチェーンの構成技術と応用事例 予習 (時間) : 配布資料の事例を熟読し、ポイントをまとめる。(120) 復習 (時間) : 事例内容をまとめる (120)	
	第11回	AI(人工知能)の基礎理論と事例研究 (1) 予習 (時間) : 配布資料の事例を熟読し、ポイントをまとめる。(120) 復習 (時間) : 事例内容をまとめる (120)	
	第12回	AI(人工知能)の基礎理論と事例研究 (2) 予習 (時間) : 配布資料の事例を熟読し、ポイントをまとめる。(120) 復習 (時間) : 事例内容をまとめる (120)	
	第13回	IoT(モノのインターネット)の基礎理論と事例研究 予習 (時間) : 配布資料の事例を熟読し、ポイントをまとめる。(120) 復習 (時間) : 事例内容をまとめる (120)	
	第14回	ERPの変遷・AR/VRの基礎理論と事例研究 予習 (時間) : 配布資料の事例を熟読し、ポイントをまとめる。(120) 復習 (時間) : 事例内容をまとめる (120)	
	第15回	これからの情報システムに関するまとめ 予習 (時間) : 事例を検索しておく (180) 復習 (時間) : レポートの準備をする (180)	
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	2. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力		
到達目標	本科目は、DPの「ビジネスに関する基礎的技能」「知識基盤社会において高度化するビジネスへの参画」「自らのキャリア形成」を目指す。 (1) 近年の情報技術のロードマップを理解し、説明ができる。 (2) 普及している情報システムの基盤 (SCM/ (SCM/ERP)を理解し、説明ができる。 (3) AI(人工知能) IoT、ブロックチェーン、FinTechを理解し、説明ができる。 (4) 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢を養うことができる。 (5) 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力を養うことができる。		

	【身に付くスキル】 グローバルな視野・情報活用能力
課題や小テスト等のフィードバックの方法	翌週の授業のはじめに課題などを確認しながらフィードバックを実施。
履修上の注意	基礎理論講義では、予習は配布資料を熟読すること。特に指定された用語を理解しておくこと。復習は、講義内容のノートを見て理解を深めること。事例研究では、事例の配布資料を熟読すること。特にポイントをまとめておくこと。復習は、事例研究の内容をまとめておくこと。レポートの準備は11月から取りかかり、自分のレポートに使用する参考資料を1部印刷しておき、レポートにホッチキス止めをして一緒に提出すること。配布プリントを参考資料としてインターネット検索などを活用して、情報システムの最新事例を幾つかの産業分野に焦点を当ててまとめを行っていく。
成績評価の方法・基準	講義中の課題の解答と提出状況（40%）期末課題のレポート（60%）から評価する。
教科書	電子教材・課題プリントを配布する。
参考書・教材	【参考書】電子教材・課題プリントを配布する。
備考	講義科目／実務家教員による授業
教員との連絡方法	電子メール（アドレスは初回の授業で通知。）